



フェルメールの絵画が好きな奥様は、「青い扉のある白い家で暮らしたい」という明確なビジョンがありました。家づくりは素材や色、配置などを各部屋ごとにじっくり吟味しながら、一つ一つ選びました。「時間はかかるけれど、納得しないと決まらない性格なんです」(奥様)。
 こうして完成したT邸は、存在感のある玄関ドアに憧れの「フェルメールブルー」を取り入れました。リビングから独立させたダイニング・キッチンのフロアも、フェルメールの作品に描かれた白黒の床からインスピレーションを受けたもの。赤いキッチンや黄色い壁が一層際立ちます。「空間に合う家具や道具をそろえながら、雰囲気づくりを楽しみたいです」(ご夫婦)。

青い扉に魅せられて。
暮らしを育む「色」のある家



My Favorite House

こだわりの
デザイン住宅

No. 00

「雑貨が似合う家」
Biscotti HOUSE

渋川市 T邸



1. 白×黒のフロアにコの字型の真っ赤なキッチン。壁面のタイルは奥様が一枚一枚、張る場所を指定した。 2. キッチンの横に配置した独立型のダイニング空間。壁の色は明るいレモンイエローを採用した。 3. のどかなヨーロッパの郊外を思わせる外観。真っ白な外壁に、青く重厚な玄関扉がひととき映える。 4. 吹き抜けが開放的なリビング。家族が集う空間はあえてシンプルに。 5. 角度のある屋根の勾配が生かされた子ども部屋には、ハンモックを設置。梁はご主人自ら塗装した。 6. フリティッシュテイストを意識した寝室は、ストライプの壁紙を採用。「この部屋に合う家具を置きたいです」(奥様)。 7. トイレ、寝室、子ども部屋、それぞれ異なるドアの色がカラフルで楽しい2階ホール。

DATA

家族構成：夫婦＋子ども2人 竣工：2017年8月
 構造：木造軸組工法 延床面積：115.69㎡(34.99坪)
 1F 67.76㎡(20.49坪) 2F 47.93㎡(14.50坪)
 設計・施工：「雑貨が似合う家」 Biscotti HOUSE
 ※建築主様のご要望により平面図は省きます。

この家を建てた企業の情報は P000～